

平成 27 年度 決算に係る

定期監査

調書

決算審査

平成 28 年 7 月

教育委員会事務局 人権教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	2 頁
3	組織及び業務調べ	3 頁
4	職員の定員、現員調べ	"
5	役付職員の調べ	"
6	主な事業に関する調べ	4 頁
7	決算調書（総括表）	11 頁
8	事業別実施状況調べ	13 頁
9	予備費の充用調べ	15 頁
10	繰越関係調べ	"
11	収入証紙取扱額調べ	"
12	収入事務処理状況調べ	16 頁
(1)	分担金及び負担金	
(2)	使用料	
(3)	手数料	
(4)	財産収入	
(5)	寄付金	
(6)	諸収入	
(7)	現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	17 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況	18 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	20 頁
16	債務負担行為の状況調べ	21 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	23 頁
(1)	負担金	
(2)	補助金	
(2-2)	補助金（他団から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
(3)	交付金	
(4)	委託料	
(4-2)	委託料（他団から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	25 頁
19	財産に関する調べ	"
(1)	公有財産	
(2)	金券類の受扱状況	
(3)	基金	
(4)	債権	

20 財産の貸付及び使用許可調べ	27頁
(1) 土地及び建物	"
(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	"
21 借受不動産明細調べ	"
22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	"
23 自動車の管理状況	"
24 寄附物件の受納状況調べ	"
25 備品処分状況の調べ	"
26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	"
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	"
(2) 物品の照合	"
27 貸付金等状況調べ	28頁
(1) 総括表	"
(2) 債務状況	"
○ 意見、要望等	30頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見

決算審査意見	処理状況等																								
<p>○収入未済額の縮減について</p> <p>(1) 進学奨励資金貸付金元利収入 税外収入では、各部局において改正した債権管理事務取扱要領に基づいた債権回収の取組みを的確に進めて、引き続き収入未済額の縮減に努められたい。 (収入未済額：203,665,467円)</p> <p>(2) 育英奨学資金貸付金元利収入 収入未済額が発生している特別会計の所管課においては、一般会計と同様に債権管理事務取扱要領に基づいた債権回収を推進し、引き続き収入未済額の縮減に努められたい。 (収入未済額：107,851,783)</p>	<p>1 未収金の現状等</p> <p>(1) 進学奨励資金貸付金元利収入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>返還未納額</th> <th>前年増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度末</td> <td>233,078千円</td> <td>△13,172千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度末</td> <td>203,665千円</td> <td>△29,413千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度末</td> <td>174,696千円</td> <td>△28,969千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 育英奨学資金貸付金元利収入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>返還未納額</th> <th>前年増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度末</td> <td>92,633千円</td> <td>13,384千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度末</td> <td>107,852千円</td> <td>15,219千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度末</td> <td>115,657千円</td> <td>7,805千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 過年度未収金に対する処理方針 催告状や法的措置予告といった督促文書を、本人だけではなく、連帯保証人や保証人にも送付し、未納状況を周知し返還を求める。また、電話督促や個別訪問による返還交渉を行い、状況によっては分割納付に応じる等柔軟に対応し、返還を促す。 それでもなお返還が進まない者については、債権回収会社へ回収業務を委託したり、法的措置を行うなど、厳正な対応を行う。</p> <p>3 未収金が発生しないよう、その発生した年度内に回収するための対策 未納になり始めた早い段階での納付交渉が効果的であり、督促状の発送に併せて電話督促を行う。その専任の非常勤職員を平成25年度に1名増員した。 未就職や出産など、所得が低く返還が困難な期間は返還請求を猶予し、未納が発生する要因を減らすよう平成25年3月に規則改正を行った。 平成26年度からは債権回収会社への回収業務委託の件数及び金額を例年より大幅に増やし、対応を強化している。</p>	区分	返還未納額	前年増減額	平成25年度末	233,078千円	△13,172千円	平成26年度末	203,665千円	△29,413千円	平成27年度末	174,696千円	△28,969千円	区分	返還未納額	前年増減額	平成25年度末	92,633千円	13,384千円	平成26年度末	107,852千円	15,219千円	平成27年度末	115,657千円	7,805千円
区分	返還未納額	前年増減額																							
平成25年度末	233,078千円	△13,172千円																							
平成26年度末	203,665千円	△29,413千円																							
平成27年度末	174,696千円	△28,969千円																							
区分	返還未納額	前年増減額																							
平成25年度末	92,633千円	13,384千円																							
平成26年度末	107,852千円	15,219千円																							
平成27年度末	115,657千円	7,805千円																							

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>10 育英奨学資金貸与者で県内就職する者への返還優遇について（文書指摘）</p> <p>若者の県外流出による社会減による人口減少は、本県の大きな課題であります。活力ある地域を維持するためには、県内出身の若者の地元定着を図る必要があります。</p> <p>育英奨学資金は、県内在住の者の子等で経済的理由により修学が困難である者に対し、修学中に貸与するものですが、より多くの奨学生に、卒業後、住み慣れた土地で実力を発揮し、地域に活力を与える存在となっていただくことは、本県にとって大きな力となります。</p> <p>また、育英奨学資金の返還の減免は、県内就職へのインセンティブとなり、さらに長い目で見れば地域に貢献する人材となることが期待できます。</p> <p>については、育英奨学資金の貸与を受けた者の地元定着を図るため、県内就職する者に対して育英奨学資金の返還を減免することを検討すべきであります。</p>	<p>本県においては、I J Uターン及び産業人材の確保を促進させるため、県と産業界が協力して基金を設置し、県内に就職する大学生等の奨学金返還金を助成する事業を実施しているところであり、鳥取県育英奨学資金の貸与を受けた者についても、同事業によって、奨学金の返還に係る負担を軽減することにより、本県へのリターン就職等を促進し、地域の活性化を図っているところです。</p> <p>平成28年度からは、同事業の対象業種として、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業を追加するとともに、助成対象を150人から180人に拡大して、より多くの大学生等の県内就職の実現を図ることとしています。</p> <p>なお、今後も国や他県の動きを注視し、必要な対策を検討していきます。</p>

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
人権教育課	社会教育担当	(1) 人権教育の企画に関すること。 (2) 人権教育の指導に関すること。
	学校教育担当	(3) 進学奨励事業に関すること。
	育英奨学室	(4) 育英奨学事業に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	28.4.1 現在	27.4.1 現在	
定員	11	11	0	0	0	0	11	11	
現員	11	11	0	0	0	0	11	11	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	6	5	0	0	0	0	6	5	・納付勧奨専門員(2名) ・一般事務(4名)

5 役付職員の調べ

(平成28年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	岸根 弘幸	2	3	
課長補佐兼 育英奨学室長	小椋 誠	1	3	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要												
学校人権教育振興事業	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 学校教育における人権教育の推進・充実のため、研修会の開催や学校への助言・指導を行う。 (イ)事業の実施状況												
決算(見込)額 1,934千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名(対象等)</th><th>ねらいと内容</th><th>実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)</td><td>重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 〈小・中学校〉 全市町村で開催 〈高校・特別支援学校〉 4月24日に開催 </td><td>延べ19回 参加者41人</td></tr> <tr> <td>②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)</td><td>県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。</td><td>7月27日実施 参加者11人</td></tr> <tr> <td>③学校人権教育推進事業（訪問指導）</td><td>各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。</td><td>指導助言 延べ 177 回</td></tr> </tbody> </table>	事業名(対象等)	ねらいと内容	実績	①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 〈小・中学校〉 全市町村で開催 〈高校・特別支援学校〉 4月24日に開催	延べ19回 参加者41人	②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月27日実施 参加者11人	③学校人権教育推進事業（訪問指導）	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ 177 回
事業名(対象等)	ねらいと内容	実績											
①人権教育主任研究協議会 (人権教育主任、市町村担当者)	重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、具体的な実践事例を紹介しながら研究協議を行った。 〈小・中学校〉 全市町村で開催 〈高校・特別支援学校〉 4月24日に開催	延べ19回 参加者41人											
②高等学校人権教育推進教員研究協議会 (加配教員、時間数軽減教員)	県外高校での先進的実践に学びながら、人権教育の視点から、教育上配慮を要する生徒に対する効果的な指導方法等について研究協議を行った。	7月27日実施 参加者11人											
③学校人権教育推進事業（訪問指導）	各学校、校区等での授業研究会や研修会等で指導・助言を行った。	指導助言 延べ 177 回											
（財源内訳） 一般財源 1,934千円													
○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と男女共同参画の推進													
○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会の推進													

イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

児童生徒の実態に応じ、人権を身近に感じられる授業実践について、実践事例を紹介しながら模擬授業の形で具体的に提案した。(事業①)
県外の先進的実践を紹介し、取組を深めた。(事業②)

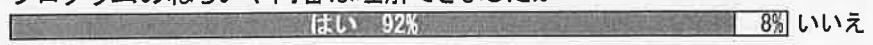
ウ 成果

- ① 率直な質疑応答・意見交換を通じて、重点事項である「児童生徒に育てたい資質・能力を明確にした取組」について、丁寧に周知することができた。(事業①)
- ② 県外の先進的実践(インクルーシブな学校文化の創造に学校全体として取り組むことで生徒一人ひとりの自己実現につなげている)に学び、人権が尊重される学校づくりを具体的にどのように進めていくか、協議を深めることができた。(事業②)

エ 課題

他事業(県立学校人権教育推進支援事業、人権教育実践事業等)の成果を取り入れながら、模擬授業による提案の在り方、指導助言の内容など、継続的に改善・充実に努める必要がある。(事業①、③)

事業名	概要												
人権教育実践事業 決算(見込) 額 705千円 (財源内訳) 国庫委託金 599千円 一般財源 106千円 ○将来 ビジョン V 支え合う (1)人権の尊 重と男女 共同参画 の推進 ○政策項目 IV 人財 とつとり 7.人権尊重 社会の推 進	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施し、人権教育の一層の推進を図る。その成果を全県に普及し、自他の人権を大切にしようとする児童生徒の育成を図る。(国委託「人権教育研究推進事業」)</p> <p>(イ)事業の実施状況 モデル校を指定し、実践的な研究を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th><th>課題(☆)と取組内容(○)</th><th>成果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米子市立彦名小学校</td><td> <p>☆自分の思いを表現できないため、周りから認められないと感じている児童の存在。</p> <p>○「すてきの木」コーナー(友だちが他の人にした優しい行いに目を向ける)など認め合う活動を充実させた。</p> <p>○たてわり活動、きょうだい学年活動など異学年のかかわりを充実させた。</p> </td><td> <p>○Q-U調査*(5月、10月実施)での学級生活満足群の増加。 低学年:35%→45% 中学年:67%→71% 高学年:73%→77% *学校生活における満足度・意欲・学級集団の状態を調べる調査</p> </td></tr> <tr> <td>米子市立弓ヶ浜小学校</td><td> <p>☆学習の理解が難しかったり、学習に向かう構えができていなかったりして、授業に積極的に参加できない児童の存在。</p> <p>○「学級力指標*」を用いた全校体制での児童参加型学級づくりに取り組んだ。 *「きまりを守る力」「目標を立てやりとげる力」「安心を生む力」「つながる力」を指標に自己評価し、レーダーチャートで視覚化するもの</p> <p>○「わかった・できた」と感じられるユニバーサルデザインの授業づくりに取り組んだ。</p> </td><td> <p>○自尊感情アンケートにおける「学習達成感覚」での肯定的回答の増加。 H26:86.7%→H27:89.2%</p> </td></tr> <tr> <td>米子市立弓ヶ浜中学校</td><td> <p>☆自尊感情の低さ。他を思いやり、思いを伝え合う力の弱さ。</p> <p>○Q-U調査の活用、生徒会活動における居場所づくり活動など仲間づくりの取組を充実させた。</p> <p>○課題の明示、めあての提示、効果的な導入の工夫などユニバーサルデザインの授業づくりの取組を充実させた。</p> </td><td> <p>○学校評価アンケートにおける「自分の学級は居心地がいい」での肯定的回答の増加。 H26:64.5%→H27:83.0%</p> </td></tr> </tbody> </table> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 人権教育の指導方法の根幹である「協力」「参加」「体験」についての理解が浸透するようモデル校の課題に即した指導を行った。</p> <p>ウ 成果 各学校の課題意識に応じた指導方法の改善・充実が行われた。得られた成果を他校の研究会等の場面で共有することができた。</p> <p>エ 課題 研究成果を共有する場面(他校の研究会・次年度の人権教育主任研究協議会等)の在り方について継続的に工夫・改善していく必要がある。</p>	対象校	課題(☆)と取組内容(○)	成果	米子市立彦名小学校	<p>☆自分の思いを表現できないため、周りから認められないと感じている児童の存在。</p> <p>○「すてきの木」コーナー(友だちが他の人にした優しい行いに目を向ける)など認め合う活動を充実させた。</p> <p>○たてわり活動、きょうだい学年活動など異学年のかかわりを充実させた。</p>	<p>○Q-U調査*(5月、10月実施)での学級生活満足群の増加。 低学年:35%→45% 中学年:67%→71% 高学年:73%→77% *学校生活における満足度・意欲・学級集団の状態を調べる調査</p>	米子市立弓ヶ浜小学校	<p>☆学習の理解が難しかったり、学習に向かう構えができていなかったりして、授業に積極的に参加できない児童の存在。</p> <p>○「学級力指標*」を用いた全校体制での児童参加型学級づくりに取り組んだ。 *「きまりを守る力」「目標を立てやりとげる力」「安心を生む力」「つながる力」を指標に自己評価し、レーダーチャートで視覚化するもの</p> <p>○「わかった・できた」と感じられるユニバーサルデザインの授業づくりに取り組んだ。</p>	<p>○自尊感情アンケートにおける「学習達成感覚」での肯定的回答の増加。 H26:86.7%→H27:89.2%</p>	米子市立弓ヶ浜中学校	<p>☆自尊感情の低さ。他を思いやり、思いを伝え合う力の弱さ。</p> <p>○Q-U調査の活用、生徒会活動における居場所づくり活動など仲間づくりの取組を充実させた。</p> <p>○課題の明示、めあての提示、効果的な導入の工夫などユニバーサルデザインの授業づくりの取組を充実させた。</p>	<p>○学校評価アンケートにおける「自分の学級は居心地がいい」での肯定的回答の増加。 H26:64.5%→H27:83.0%</p>
対象校	課題(☆)と取組内容(○)	成果											
米子市立彦名小学校	<p>☆自分の思いを表現できないため、周りから認められないと感じている児童の存在。</p> <p>○「すてきの木」コーナー(友だちが他の人にした優しい行いに目を向ける)など認め合う活動を充実させた。</p> <p>○たてわり活動、きょうだい学年活動など異学年のかかわりを充実させた。</p>	<p>○Q-U調査*(5月、10月実施)での学級生活満足群の増加。 低学年:35%→45% 中学年:67%→71% 高学年:73%→77% *学校生活における満足度・意欲・学級集団の状態を調べる調査</p>											
米子市立弓ヶ浜小学校	<p>☆学習の理解が難しかったり、学習に向かう構えができていなかったりして、授業に積極的に参加できない児童の存在。</p> <p>○「学級力指標*」を用いた全校体制での児童参加型学級づくりに取り組んだ。 *「きまりを守る力」「目標を立てやりとげる力」「安心を生む力」「つながる力」を指標に自己評価し、レーダーチャートで視覚化するもの</p> <p>○「わかった・できた」と感じられるユニバーサルデザインの授業づくりに取り組んだ。</p>	<p>○自尊感情アンケートにおける「学習達成感覚」での肯定的回答の増加。 H26:86.7%→H27:89.2%</p>											
米子市立弓ヶ浜中学校	<p>☆自尊感情の低さ。他を思いやり、思いを伝え合う力の弱さ。</p> <p>○Q-U調査の活用、生徒会活動における居場所づくり活動など仲間づくりの取組を充実させた。</p> <p>○課題の明示、めあての提示、効果的な導入の工夫などユニバーサルデザインの授業づくりの取組を充実させた。</p>	<p>○学校評価アンケートにおける「自分の学級は居心地がいい」での肯定的回答の増加。 H26:64.5%→H27:83.0%</p>											

事業名	概要																					
地域と共に創ると つとり人権教育事 業	ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 学校・家庭・地域が連携して、いじめの防止等のための効果的な研究実践を行い、その成果を人権教育プログラム集として県内に普及させる。																					
決算(見込)額 (財源内訳)	(イ)事業の実施状況 (1)人権教育プログラム作成協力校事業(学校教育編) 作成協力校が実施する研究会等に共同研究者(大学教授等、指導主事)を派遣し、研究を支援した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>共同研究者</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取市立西中学校</td> <td>小林勝年(鳥取大学)</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>岩美町立岩美北小学校</td> <td>岡崎正和(岡山大学)</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>倉吉市立上灘小学校</td> <td>黒崎東洋郎(岡山大学)</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>米子市立箕蚊屋小学校</td> <td>水野治久(大阪教育大学)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子市立後藤ヶ丘中学校</td> <td>谷口研二(福岡教育大学)</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>佐藤暁(岡山大学)</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	学 校	共同研究者	実施回数	鳥取市立西中学校	小林勝年(鳥取大学)	3回	岩美町立岩美北小学校	岡崎正和(岡山大学)	5回	倉吉市立上灘小学校	黒崎東洋郎(岡山大学)	6回	米子市立箕蚊屋小学校	水野治久(大阪教育大学)		米子市立後藤ヶ丘中学校	谷口研二(福岡教育大学)	5回		佐藤暁(岡山大学)	4回
学 校	共同研究者	実施回数																				
鳥取市立西中学校	小林勝年(鳥取大学)	3回																				
岩美町立岩美北小学校	岡崎正和(岡山大学)	5回																				
倉吉市立上灘小学校	黒崎東洋郎(岡山大学)	6回																				
米子市立箕蚊屋小学校	水野治久(大阪教育大学)																					
米子市立後藤ヶ丘中学校	谷口研二(福岡教育大学)	5回																				
	佐藤暁(岡山大学)	4回																				
一般財源 ○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と 男女共同参画 の推進	(2)人権教育プログラム作成委員会事業(社会教育編) 市町村人権教育推進員・人権教育アドバイザー等で作成委員会を組織し、人権教育プログラム(社会教育編)を作成した。 (作成委員会:全体会2回、グループ別17回、作成したプログラム:6本)																					
○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会 の推進	(3)人権教育プログラム実践事業 作成協力校PTAにおいて、いじめをテーマとした人権教育プログラム(社会教育編)を用いた研修を実施した。(14回)																					
	イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業のため特段の改善点なし。																					
	ウ 成果 作成委員が各作成協力校の授業を参観した上で人権教育プログラム(社会教育編)の作成に当たった。このことにより、以下の成果があつた。 ① 児童生徒の実態や学校の思いを踏まえたプログラムとすることができた。 ② PTA研修会に参加した保護者の満足度も高かった。 また、PTA研修会に参加した教員からは「参加型の手法が参考になった」との声があつており、今後のプログラム作成への好影響が期待できる。																					
	<p><参考>研修会に参加した保護者の回答</p> <p>○本日の研修の内容は、自分自身にとって身近なことだと感じましたか  はい 98% いいえ 2%</p> <p>○本日のプログラムは、学校のいじめ防止の取組を踏まえて作成しましたが、プログラムのねらいや内容は理解できましたか  はい 92% いいえ 8%</p>																					
	エ 課題 1年次の成果を拡充させるために2年次に取り組むべき課題は以下のとおり。 (1)1年次の児童生徒の学びをPTA研修会に、保護者の学びを授業づくりに反映させ、家庭での親子の対話を活性化するようなプログラムに改善する必要がある。 (2)1年次に開発した人権教育プログラム(社会教育編)を他校のPTAに普及させるため、ファシリテーター(参加者の参加度を高める技能を持った学習促進者)の養成及び派遣に努める必要がある。他の事業で活躍しているファシリテーターに連携を呼びかける等、人材を確保する方策を検討する必要がある。																					

事業名	概要		
人権尊重のまちづくり推進支援事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 地域社会における人権尊重のまちづくりを住民一人一人が主体者として進められるよう、市町村が実施する人権教育施策、住民学習の充実への支援を行う。</p>		
決算(見込)額 831千円	<p>* 参考(人権教育課と人権・同和対策課の関わり)</p> <pre> graph TD A[文部科学省] <--> B[法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)] A --> C[教育委員会(人権教育課)] B --> C C <--連携--> D[知事部局(人権・同和対策課)] D <--連携--> E[市町村教育委員会・市町村 社会教育関係団体(PTA・人推協等)] D <--連携・支援--> F[市町村 県民 民間団体 企業 等] </pre> <p>国 「人権教育・人権啓発の推進に関する法律」(H12)</p> <table border="1"> <tr> <td><人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育</td> <td><人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)</td> </tr> </table>	<人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育	<人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)
<人権教育> 人権尊重の精神の涵養を目的とした教育	<人権啓発> 国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く)		
(財源内訳) 一般財源 831千円			
○将来ビジョン V 支え合う (1)人権の尊重と 男女共同参画 の推進			
○政策項目 IV 人財とつとり 7.人権尊重社会の 推進	<p>文部科学省</p> <p>法務省 (厚生労働省・総務省・内閣府)</p> <p>教育委員会(人権教育課)</p> <p>・学校における人権教育の推進 ・社会教育における人権教育の推進 (人権教育の理念の周知、人権学習プログラムの提供、市町村人権教育担当者研修等)</p> <p>知事部局(人権・同和対策課)</p> <p>・同和問題に関する事業の実施 ・人権啓発・教育の取組 等 (啓発行事、啓発資料作成 等)</p> <p>連携・支援</p> <p>市町村教育委員会・市町村 社会教育関係団体(PTA・人推協等)</p> <p>・推進組織の確立 ・住民学習の機会の提供 (講座・学級・交流活動・小地域懇談会) ・指導者の育成 等</p> <p>連携・支援</p> <p>市町村 県民 民間団体 企業 等</p>		
	<p>(イ)事業の実施状況</p> <p>①市町村合同研究協議会 市町村の行政関係者等と研究協議を行い、人権教育アドバイザーが市町村の抱える課題について助言を行った。</p> <p>○市町村合同研究協議会のメンバー構成 県職員(人権教育課、各教育局、人権・同和対策課)、人権教育アドバイザー 市町村職員 等</p> <p>○人権教育アドバイザーの役割等 【役割】専門的見地からの指導・助言等 【人数】9名(東中西部各3名)</p>		

事業名	概要							
	市町村	アドバイザー	概要					
	湯梨浜町 (平成27年9月25日)	一盛・長柄	・人権問題に関する意識調査について					
	伯耆町 (平成27年11月26日)	大下・中尾	・第2次男女共同参画推進計画の策定について ・第2次伯耆町人権施策推進計画の策定について ・人権文化センター、文化センターの事業状況について					
②人権教育アドバイザー事業								
○事業の目的 社会教育における人権教育の現状及び推進の方向性に関する共通理解、アドバイザーの資質向上等								
事業	概要							
会議	H27. 6. 9	県、市町村の人権教育の現状、方向性等について研						
研修会	H27.10.22	究協議を実施。(一部、市町村担当者と合同)						
県外研修会	最近の課題となっている分野等の県外の研修会にアドバイザーを派遣し、資質向上を図った。							
イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点								
特になし								
ウ 成果								
① 市町村合同研究協議会では、人権教育推進のための組織づくり、啓発事業の企画についてなど、市町村が抱える諸課題について、解決の方向性を見出すことができた。								
② アドバイザー研修会を一部市町村担当者と合同で開催することで、新たな人権問題に関する市町村の取組状況について理解を深めることができた。								
エ 課題								
① 市町村合同研究協議会は希望制のため、開催する市町村に偏りが見られることから、市町村と県との連携強化を図るためにも、計画的な開催について市町村へ働きかけることが必要である。								
② 人権教育アドバイザーの研修の機会を充実することで、新たに生起する人権問題に関する理解を深め、適切な助言ができるようにする必要がある。								

事業名	概要
奨学資金債権回収強化事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 奨学金(進学奨励資金・育英奨学資金)未納額の増加を抑制するため、徴収促進の取組みを行う。</p>
決算(見込)額 9,346千円	<p>(イ)事業の実施状況 ① 徴収業務担当職員(職員2名)及び納付勧奨専門員(非常勤職員2名)を配置し、未納返還金の督促業務を専門的に行つた。 ② 債権回収会社(サービスサー)へ債権回収業務を委託した。(委託総数 363人) ③ 高額未納者等に対し、法的措置を行つた。(支払督促 20人) ④ 未納になり始めた早い段階で、電話督促等の納付交渉を行つた。</p>
(財源内訳) 一般財源 9,346千円	
○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」の推進	<p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・訪問や電話の際には、未納者の財産状況等の聞き取りを強化し、後の法的措置の効果を図つた。 ・返還の資力があるにもかかわらず、返還しない者に対して強制執行を行つた。 ・サービスへの債権回収業務委託における進学奨励資金と育英奨学資金のバランスを、未納が増加し続ける育英奨学資金の方へシフトさせた。</p> <p>ウ 成 果 ① 上記イのように効率的な督促業務が行えたことから、収納額が約6億3千万円(H26年度:約5億8千万円)となり、未納額は約2億9千万円(H26年度:約3億1千万円)となつた。 ② 債権回収会社への督促業務の委託により、一部の返還が進まない未納者からの返還が行われた。 (委託総数 363人→返還 252人(747件)・金額ベース回収率 19.4%)</p> <p>エ 課 題 ① 長期未納者・高額未納者が多いことから、引き続き、更に効果的な債権回収方法を検討し、回収を促進する必要がある。 ② 現在取り組んでいる回収方法についても、効果を検証する必要がある。</p>

事業名	概要																																					
育英奨学事業費 (育英奨学事業特別会計)	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 高等学校等・大学等に在学する者で、経済的理由により修学が困難な者に対して、育英奨学資金を貸与することにより、有用な人材を育成する。</p>																																					
決算(見込)額 878,263千円	<p>(イ)事業の実施状況 ○ 高等学校等 ① 奨学生数及び奨学資金貸与状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新規採用※</th> <th rowspan="2">継続</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>予約</th> <th>在学 (中3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立</td> <td>173</td> <td>106</td> <td>630</td> <td>909</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>93</td> <td>150</td> <td>324</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>266</td> <td>256</td> <td>954</td> <td>1,476</td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">404,668 千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	奨学生数			備考	新規採用※		継続	合計	予約	在学 (中3)	国公立	173	106	630	909	私立	93	150	324	567	計	266	256	954	1,476	貸与総額	404,668 千円									
区分	奨学生数			備考																																		
	新規採用※		継続		合計																																	
	予約	在学 (中3)																																				
国公立	173	106	630	909																																		
私立	93	150	324	567																																		
計	266	256	954	1,476																																		
貸与総額	404,668 千円																																					
(財源内訳) 繰入金 353,669千円 元利収入 523,821千円 その他 773千円	<ul style="list-style-type: none"> 左表のとおり奨学金の貸与を行った(1,476名) 新規採用出願倍率 1.0倍 平成28年度に高校等へ進学予定の中学生を対象に予約採用を行った (出願者 207名/採用者 207名:H28 貸与者) <table border="1"> <thead> <tr> <th>貸与月額</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅</td> <td>18,000 円</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>自宅外</td> <td>23,000 円</td> <td>35,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	貸与月額	国・公立	私立	自宅	18,000 円	30,000 円	自宅外	23,000 円	35,000 円																												
貸与月額	国・公立	私立																																				
自宅	18,000 円	30,000 円																																				
自宅外	23,000 円	35,000 円																																				
○将来ビジョン VI 育む (2)「人財・鳥取」 の推進	<p>※予約は中学3年生時の申請、在学は高校進学後の申請。 ② 平成27度返還状況 調定総額 403,603,630円、収入額 304,697,182円</p> <p>○ 大学等 ① 奨学生数及び奨学資金貸与状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">奨学生数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>新規採用</th> <th>継続</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>175</td> <td>466</td> <td>641</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 左表のとおり奨学金の貸与を行った(786名) 平成28年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.59倍(240名/382名) </td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>64</td> <td>81</td> <td>145</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>239</td> <td>547</td> <td>786</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸与総額</td> <td colspan="3">467,001 千円</td> <td>貸与月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3"></td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>② 平成27年度返還状況 調定総額 236,718,405円、返還総額 219,967,400円</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 経済的理由により修学が困難な者の修学を支援した。</p> <p>エ 課題 平成26年度から高校生等奨学給付金の事業を開始したことから、貸与者数等の動向を注視し、制度改革等を検討していく必要がある。</p>	区分	奨学生数			備考	新規採用	継続	合計	大学	175	466	641	<ul style="list-style-type: none"> 左表のとおり奨学金の貸与を行った(786名) 平成28年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.59倍(240名/382名) 	専修学校	64	81	145		計	239	547	786		貸与総額	467,001 千円			貸与月額					<table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	国公立	私立	45,000 円	54,000 円
区分	奨学生数			備考																																		
	新規採用	継続	合計																																			
大学	175	466	641	<ul style="list-style-type: none"> 左表のとおり奨学金の貸与を行った(786名) 平成28年度に大学等へ進学予定の高校3年生を対象に予約採用を行った 出願倍率1.59倍(240名/382名) 																																		
専修学校	64	81	145																																			
計	239	547	786																																			
貸与総額	467,001 千円			貸与月額																																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>国公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45,000 円</td> <td>54,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	国公立	私立	45,000 円	54,000 円																														
国公立	私立																																					
45,000 円	54,000 円																																					

7 決算調書
(総括表)

(単位:円)

【一般会計】

区分	科 目	予 算			現 額			決 算 の 内 訳			備 考
		当初予算額	補正予算額	計 A	継続費及び事業費 繰越事業費額	予備費及び支用 繰越事業費額	計 B	本 庁	出納機関	翌年度 繰越額 C	
歳 出	教育振興費	10,960,000	△ 3,000,000	0	0	7,960,000	6,866,284	5,585,450	1,280,834	0	1,093,716
	育英奨学事業費	1,027,115,000	△ 121,834,000	0	0	905,281,000	853,764,529	858,764,529	0	0	46,516,471
	社会教育総務費	5,928,000	0	0	0	5,928,000	5,498,109	5,498,109	0	0	429,891
	合計	1,044,003,000	△ 124,834,000	0	0	919,169,000	871,128,922	869,848,088	1,280,834	0	48,040,078
歳 入	教育費国庫補助金	40,348,000	△ 1,707,000	0	0	38,641,000	38,506,000			0	135,000
	教育費委託金	2,200,000	△ 1,600,000	0	0	600,000	598,570			0	1,430
	利子及び配当金	144,000	△ 45,000	0	0	99,000	98,861			0	139
	授業料减免・奨学生基 金繰入金	274,613,000	△ 180,000	0	0	274,433,000	274,432,572			0	428
歳 入	延滞金	20,000	0	0	0	20,000	112,008			0	△ 92,008
	進学奨励資金貸付 金元利收入	92,626,000	0	0	0	92,626,000	111,867,712			0	△ 19,241,712
	雑入	50,000	0	0	0	50,000	370,013			0	△ 320,013
	合計	410,001,000	△ 3,532,000	0	0	406,469,000	425,985,736			0	△ 19,516,736

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

区分	科 目	当初予算額	補 正 予 算 額	現 領	決 算 額	決 算 額 の 内 訳	翌 年 度 繰 越 領 C	差 引 増 減 領 A - B - C	備 考
資 事 務 費	育英奨学資金貸付	960,892,000	△ 81,458,000	0	0	879,434,000	878,262,386	878,262,386	0
歳 出	合計 a	960,892,000	△ 81,458,000	0	0	879,434,000	878,262,386	878,262,386	0
歳 入	一般会計からの繰入	503,018,000	△ 104,685,000	0	0	398,333,000	353,668,791		0
	前年度繰越金	10,000	763,000	0	0	773,000	773,034		△ 34
	賃付金元利収入	457,864,000	22,464,000	0	0	480,328,000	524,664,582		△ 44,336,582
	合計 b	960,892,000	△ 81,458,000	0	0	879,434,000	879,106,407	879,106,407	0
	歳入歳出差引残額 b-a	0	0	0	0	844,021		844,021	0
	一般会計からの繰入れ理由								

貸与者数の増等により、貸与額が返還額を上回るため、一般会計から繰入れを行っている。

8 事業別実施状況調べ

【一般会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教育振興費) (主) 学校人権教育 振興事業	2,064,000	1,933,056	0	130,944	
(主) 人権教育実践 事業	750,000	704,244	0	45,756	
県立学校人権 教育推進支援 事業	2,625,000	2,124,911	0	500,089	全ての県立学校が、主体的に企画・立案・実施する人権教育を支援するため、それに要する経費を負担した。 →自校の課題解決に生徒・保護者を巻き込んだ実践が行われ、学校毎に特色ある人権教育の推進に反映させることができた。事業の成果を実践事例集として公表した。
(主) 地域と共に創 るとどり人権 教育事業	2,521,000	2,104,073	0	416,927	
教育振興費 計	7,960,000	6,866,284	0	1,093,716	
(育英奨学事業費) (主) 奨学資金債権 回収強化事業	10,014,000	9,345,465	0	668,535	
進学奨励事業	74,538,000	74,302,899	0	235,101	○国庫補助金の償還(70,649千円) 国庫補助金を財源とする奨学金だったため、平成25年度に返還された額の2/3を国に返還した。 ○返還免除の決定 所得が基準額を下回る世帯に対して返還免除の決定を行った。 (申請186件、決定140件) ○平成27年度収納状況 調定額286,635、収納額111,868千円

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果															
育英奨学事業	681,687,000	636,562,128	0	45,124,872	<p>○大学等進学資金助成金(1,586千円) 大学等への進学に際して、金融機関から借入れた教育ローン等の利息の一部を助成した。</p> <p>○修学奨励資金(336千円) 定時制・通信制に通う勤労学生に対して修学奨励資金を貸与した。</p> <p>○基金返還金(274,433千円) 基金事業の終了により、残額を国庫返還した。</p> <p>○特別会計への繰出金(353,669千円) 鳥取県育英奨学資金(高校・大学等)を貸与するため、一般会計から特別会計へ繰出した。</p>															
県育英会助成事業	23,016,000	22,950,067	0	65,933	(公財)鳥取県育英会の運営する東京学生寮について、適正な管理運営を指導するとともに経営の健全化を図るため、次のとおり助成した。															
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>補助金額</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生寮管理者報酬 ・指導員給与等</td><td>15,508,707</td><td>寮長2名分</td></tr> <tr> <td>給食業務委託料</td><td>5,553,360</td><td>補助率1/2 (食材費除く)</td></tr> <tr> <td>営繕補修費補助</td><td>1,888,000</td><td>漏水設計</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>22,950,067</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区分	補助金額	備考	学生寮管理者報酬 ・指導員給与等	15,508,707	寮長2名分	給食業務委託料	5,553,360	補助率1/2 (食材費除く)	営繕補修費補助	1,888,000	漏水設計	合計	22,950,067	
区分	補助金額	備考																		
学生寮管理者報酬 ・指導員給与等	15,508,707	寮長2名分																		
給食業務委託料	5,553,360	補助率1/2 (食材費除く)																		
営繕補修費補助	1,888,000	漏水設計																		
合計	22,950,067																			
高校生等奨学給付金事業	116,026,000	115,603,970	0	422,030	<p>授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒の保護者に奨学のための給付金を給付した。</p> <p>【支給実績】 給与人員:1,666人 金額:115,519,700円</p>															
育英奨学事業費 計	905,281,000	858,764,529	0	46,516,471																

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(社会教育総務費)					
(主) 人権尊重のまちづくり推進支援事業	1,231,000	830,769	0	400,231	
社会人権教育振興事業	4,697,000	4,667,340	0	29,660	人権教育の推進を担う鳥取県人権教育推進協議会へ補助を行い、「第40回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(H27.8.7 参加者 1,759)の開催や「市町村人・同推協等活動状況調査」など幅広い活動を行った。
社会教育総務費 計	5,928,000	5,498,109	0	429,891	
合 計	919,169,000	871,128,922	0	48,040,078	

【育英奨学事業特別会計】

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(主) 育英奨学事業費	879,434,000	878,262,386	0	1,171,614	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ

該当なし
該当なし
該当なし

(1)分担金及び負担金

(2)費用料

(3)手数料

(4)財産収入

收 入 科 目			件 数	調 定 金 額	收 入 济 額	不納欠損額	收 入 未 济 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	入 節	科 目							
利子及び配当	利子及び配当		1	98,861	98,861	0	0	基金運用による利息	
本 庁 執 行 分 計 (目)				98,861	98,861	0	0		
合 计				98,861	98,861	0	0		

(5)寄付金

該当なし

(6)諸収入

【一般会計】 取 入 科 目			件 数	調 定 金 額	收 入 济 額	不納欠損額	收 入 未 济 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	入 節	科 目							
延滞金	延滞金		4	407,948	112,008	0	295,940	育英奨学資金返還金等に係る延滞金	
本 庁 執 行 分 計 (目)				407,948	112,008	0	295,940		
進学奨励資金 進学奨励資金 貸付金元利收 入	進学奨励資金 進学奨励資金 貸付金元利收 入		14,193	286,635,216	111,867,712	71,796	174,695,708	進学奨励資金償還金 (高校・高専・大学)	
本 庁 執 行 分 計 (目)				286,635,216	111,867,712	71,796	174,695,708		
過払貸付金未戻入		9		393,000	107,000	0	286,000	中途中退等に上る 過払奨学資金未戻入金	
裁判費用		24		221,232	211,682	0	9,550	裁判手数料等に要する費用 (原因者負担)	
雇用保険料		60		49,371	49,371	0	0	雇用保険料本入負担分	
銀行利息等		5		1,960	1,960	0	0	0 奨学金返還金受領口座等に係る預金利息等	
本 庁 執 行 分 計 (目)				665,563	370,013	0	295,550		
合 计				287,708,727	112,349,733	71,796	175,287,198		

【育英奨学事業特別会計】

收 入 科 目			件 数	調 定 金 額	收 入 济 額	不納欠損額	收 入 未 济 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	入 節	科 目							
貸付金元利 收入	育英奨学資金貸付金元利 收入(高校) 育英奨学資金貸付金元利 收入(大学)		65,849	403,603,630	304,697,182	0	98,906,448		
	計		15,033	236,718,405	219,967,400	0	16,751,005		
本 庁 執 行 分 計 (目)			80,882	640,322,035	524,664,582	0	115,657,453		
合 计				640,322,035	524,664,582	0	115,657,453		

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

	収入科目(摘要)	収入額	備考
一般会計	進学奨励資金貯金元利収入	3,333,558	進学奨励資金貯金の返還金
特別会計	育英奨学金貯金元利収入	968,820	育英奨学金貯金の返還金
	合計	4,302,378	

イ つり銭の状況
つり銭の有無 無し つり銭の額(円) 0

13 税外収入未済額調べ

【一般会計】

収入科目 目	区分 細節	過年度				現年度				収入未済額 A+B	未収 理由	
		前年度以前から の繰越額		左のうちの 収入額	不 納 次損額	収入未済額 A		調定額		収入額	不 納 次損額	
		24年度以前	25年度			24年度	25年度	24年度	25年度			
延滞金	延滞金	277,440	0	0	277,440	277,440	0	0	130,508	112,008	0	
本庁執行分計(目)		277,440	0	0	277,440	277,440	0	0	130,508	112,008	0	
進学奨励資金 貯金元利収入	進学奨励資金 貯金元利収入	203,665,467	44,079,643	71,796	159,514,028	131,463,791	14,065,929	13,984,308	82,969,749	67,788,069	0	
本庁執行分計(目)		203,665,467	44,079,643	71,796	159,514,028	131,463,791	14,065,929	13,984,308	82,969,749	67,788,069	0	
過払金 未戻入		393,000	107,000	0	286,000	286,000	0	0	0	0	0	
裁判費用		6,550	6,550	0	0	0	0	214,682	205,132	0	9,550	
その他		0	0	0	0	0	0	51,331	51,331	0	0	
本庁執行分計(目)		399,550	113,550	0	286,000	286,000	0	0	266,013	256,463	0	
合計		204,342,457	44,193,193	71,796	160,077,468	132,027,231	14,065,929	13,984,308	83,366,270	68,156,540	0	
									15,209,730		175,287,198	

【育英奨学事業特別会計】

収入科目 目	区分 細節	過年度				現年度				収入未済額 A+B	未収 理由	
		前年度以前から の繰越額		左のうちの 収入額	不 納 次損額	収入未済額 A		調定額		収入額	不 納 次損額	
		24年度以前	25年度			24年度	25年度	24年度	25年度			
貸付金元利 入	高等學校 等貯金 大学等貯 付金	90,406,775	21,552,215	0	68,854,560	27,952,289	14,909,202	25,993,069	313,196,855	283,144,987	0	
		17,445,008	5,159,469	0	12,285,539	7,485,929	2,385,258	2,414,352	219,273,397	214,807,931	0	
本庁執行分計(目)		107,851,783	26,711,684	0	81,140,099	35,438,218	17,294,460	28,407,421	532,470,252	497,952,898	0	
合計		107,851,783	26,711,684	0	81,140,099	35,438,218	17,294,460	28,407,421	532,470,252	497,952,898	0	
									34,517,354	115,657,453		
									34,517,354	115,657,453		

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

【一般会計】

収入科目及び金額		目	節	細節(又は種別)	収入未済額(円)			
		進学奨励資金元利収入	進学奨励資金元利収入	貸付金	174,695,708			
債権管理事務取扱要領の作成の有無		・作成済み(H23年1月作成)						
債権分類の実施(未納者の分類を行っているか) (要領等で分類区分、考え方を定めた部分の写し を添付すること。)		・実施済み(H27年3月実施)						
区分	相手方	相手の 状況	実人数	督促状 発行	催告	臨戸 訪問	分納 件数	回収 委託
現年度分	個人	一	人 602件	人 1,119件	人 ・文書 606件	人 約 500件	人 一	人 一
過年度分	個人	一	人 6,674 件	人 一	人 約 500件	人 一	人 171	人 一

(上記以外の取組)

債権回収体制の強化(徴収業務に従事する職員2名と納付勧奨専門員(非常勤職員)2名の配置)により、電話督促や法的措置を強化した。

(取組の効果)

○現年度及び過年度未収金について、昨年度に続き収納の向上が見られた。今後も回収強化を図る。

【収納状況】

年 度	収納額(千円)			収納率(%)		
	過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体
27	44,079	67,788	111,867	21.7	81.7	39.1
26	45,501	74,596	120,097	19.8	81.7	37.2
25	32,941	73,033	105,974	13.7	78.0	31.4
24	33,229	76,500	109,729	12.9	78.0	30.7
23	35,278	80,531	115,809	13.2	75.4	30.9

○県外在住及び電話が繋がりにくいなど返還が進まない未納者を中心として債権回収業務委託を行った。

委託債権 171人 47,543,092 円 回収実績 135人 8,946,820 円(一部収納含む)

【育英奨学事業特別会計】

収入科目及び金額		目	節	細節(又は種別)	収入未済額(円)			
		貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金	115,657,453			
債権管理事務取扱要領の作成の有無				・作成済み(H26年1月作成)				
債権分類の実施(未納者の分類を行っているか) (要領等で分類区分、考え方を定めた部分の写し を添付すること。)				・作成済み(H26年1月作成)				
区分	相手方	相手の状況	実人數	督促状発行	催告	臨戸訪問	分納件数	回収委託
現年度分	個人	一	人 5,624 件	人 10,114件	人 約500件 ・文書706件	人	人 一	人 一
過年度分	個人	一	人 11,776 件	一			一	192

(上記以外の取組)

債権回収体制の強化(徴収業務に従事する職員2名と納付勧奨専門員(非常勤職員)2名の配置)により、電話督促や法的措置を強化した。

(取組の効果)

○平成14年度から事業を開始した高校奨学金の返還が増加しており、今後も徴収体制を整え、未納が増大しないよう努めていく。

年 度	収納額(千円)			収納率(%)		
	過年度	現年度	計	過年度	現年度	全体
27	26,712	497,953	524,665	24.8	93.5	81.9
26	21,930	441,554	463,484	23.7	92.2	81.1
25	16,999	407,133	424,131	21.7	93.0	82.1
24	13,984	355,442	369,426	22.0	93.1	82.4
23	10,798	335,081	345,879	21.6	93.0	83.7

○県外在住及び法的措置後も返還が進まない未納者を中心として債権回収業務委託を行った。

委託債権 192人 31,729,781円 回収実績 117人 6,438,984円(一部収納含む)

15 税外収入不納欠損額調べ

【一般会計】

(単位:円)

収入科目			不納欠損額	不納欠損の理由
目	節	細節		
進学奨励資金 貸付金元利收 入	進学奨励資金貸付 金元利收入		71,796	受学生本人より消滅時効の援用の申出があり民法の規定 により、時効完成した未納金額を不納欠損処分した。
目 計			71,796	
合 計			71,796	

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行(支出)状況				合 計 A+B	備考
		議決 (補正・当初 の別)	期間		26年度まで の執行額 A	27年度 の執行額	28年度以降 の執行予定額 B			
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成22年 3月 当初	23年度から 27年度まで	円 795,972,000	461,089,000	0	457,057,000	4,032,000	0	461,089,000 高校
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年 3月 当初	24年度から 28年度まで	円 795,972,000	461,068,000	0	445,392,000	7,838,000	7,838,000	461,068,000 高校
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成24年 3月 当初	25年度から 29年度まで	円 707,436,000	450,834,000	0	290,337,000	145,168,000	15,329,000	450,834,000 高校
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成25年 3月 当初	26年度から 30年度まで	円 707,436,000	387,545,000	0	124,789,000	117,464,000	145,292,000	387,545,000 高校
平成26年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成26年 3月 当初	27年度から 31年度まで	円 635,064,000	435,297,000	0	0	130,166,000	305,131,000	435,297,000 高校
平成27年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成27年 3月 当初	28年度から 32年度まで	円 592,692,000	352,060,000	0	0	0	352,060,000	352,060,000 高校
高校貸付金 計				3,641,880,000	2,195,833,000	0	1,317,575,000	404,668,000	473,590,000	2,195,833,000

事業名	種別	設定状況		当該事業の 契約額等	執行(支出)状況				合計 A+B	備考	
		議決 (補正・当初 の別)	期間		限度額 円	設定年度 の執行額 A	26年度まで の執行額 の執行額	27年度 の執行額	28年度以降 の執行予定額 の執行額		
平成21年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成21年 3月 当初	22年度から 27年度まで	195,912,000	133,002,000	0	128,790,000	4,212,000	0	133,002,000	大学
平成22年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成22年 3月 当初	23年度から 28年度まで	779,544,000	443,772,000	0	436,228,000	3,772,000	3,772,000	443,772,000	大学
平成23年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成23年 3月 当初	24年度から 29年度まで	569,916,000	497,232,000	0	377,399,000	111,380,000	8,453,000	497,232,000	大学
平成24年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成24年 3月 当初	25年度から 30年度まで	569,916,000	491,184,000	0	259,344,000	113,463,000	118,377,000	491,184,000	大学
平成25年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成25年 3月 当初	26年度から 31年度まで	569,916,000	488,592,000	0	128,988,000	113,988,000	245,616,000	488,592,000	大学
平成26年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成26年 3月 当初	27年度から 32年度まで	569,916,000	501,444,000	0	0	120,186,000	381,258,000	501,444,000	大学
平成27年度 育英奨学生貸付金	貸付金	平成27年 3月 当初	28年度から 33年度まで	565,056,000	495,720,000	0	0	0	495,720,000	495,720,000	大学
大学賃付金 計		3,255,120,000	2,555,226,000	0	1,330,749,000	467,001,000	757,476,000	2,555,226,000	2,555,226,000		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金 該当なし

(2)補助金

予算科目(育英奨学事業費)

①国補分

補助金の名称 (補助金等の創設年度)	交付先 間接	補助対象 経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況			備考
		補助率及び 補助金額	交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	概算払 精算払 の別	支出年月日	金額	
事業の内容		交付決定年月日	実績報告年月日	審査・実地調査年月日					
鳥取県高校生等奨学給付金(H26年度) 授業料以外の教育費負担を軽減	個人 (1,666名)	授業料以外の教育費	—	—	H27.10.13他	精算	H27.10.23他	115,519,700	文書ID:15-00103786
		(補助率:定額)	H27.7.28他	—	—				
		115,519,700	H27.10.13他	—	H27.7.28他				
本庁執行分計								115,519,700	
出納機関執行分計								0	
国補分計								115,519,700	

②単県分

(単位:円)

補助金の名称 (補助金等の創設年度)	交付先 間接	補助対象 経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況			備考
		補助率及び 補助金額	交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	概算払 精算払 の別	支出年月日	金額	
事業の内容		交付決定年月日	実績報告年月日	審査・実地調査年月日					
鳥取県学生寮運営事業補助金(S46年度) 学生寮(明倫館・清和寮)の運営	(公財)鳥取県育英会	人件費、給食委託、營繕補修	—	—	H28.5.11	概算 精算	H27.5.21他 H28.5.19	19,449,000 3,501,067	文書ID:16-00020681
		(補助率:定額)	H27.4.24	—	H28.5.9				
		22,950,067	H27.5.8	H28.3.31	—				
鳥取県大学等進学資金助成金(H14年度) 大学等への進学に際して金融機関から借り入れた教育ローンの一部を助成	個人 (33名)	教育ローンにかかる利息	—	—	H27.6.16	精算	H27.7.3 H27.7.14	1,371,827 214,283	文書ID:15-00036511
		(補助率:定率)	H27.4.7他	—	—				
		1,586,110	H27.6.16	—	H27.4.7他				
本庁執行分計								24,536,177	
出納機関執行分計								0	
単県分計								24,536,177	

予算科目(社会教育総務費)

①国補分 該当なし

②単県分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先 間接	補助対象 経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況			備考
		補助率及び 補助金額	交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	概算払 精算払 の別	支出年月日	金額	
事業の内容		交付決定年月日	実績報告年月日	審査・実地調査年月日					
鳥取県人権教育推進事業費補助金(S63年度) 県研究集会の開催、調査研究事業、資料の刊行事業	鳥取県人権教育推進協議会	人件費、事務費	—	—	H28.4.11	概算 精算	H27.4.20他 H28.4.18	4,550,000 62,000	文書ID:16-0002609
		(補助率:定額)	H27.3.26	—	—				
		4,612,000	H27.4.14	H28.4.1	H28.4.1				
本庁執行分計								4,612,000	
出納機関執行分計								0	
単県分計								4,612,000	

(2-2)補助金(他課から配当替えを受けて執行するもの)

該当なし

(3)交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	委託料の名称 国補 県單 別	委託契約 の相手方	予定価格 (契約年月日) 変更 契約額 (H27.5.22)	初 契 約 (契約年月日) 契約額 (H27.5.22 ~ H28.3.10)	委託期間 契約期間 (H27.5.22 ~ H28.3.10)	契約形態 履行検査 年月日	支出の状況			備 考
							入札等年月日 (契約保証金納付等年月日)	元月日	支 出 年 月 日	
							支 出 区 分	支 出 年 月 日	金 額	
教育振興費	人権教育研究指定校事業	米子市	—	595,990	H27.5.22 ~ H28.3.10	(免除) 隨	H28.3.8 概算	H27.6.17	595,990	文書ID:15-00025510
予定価格が20万円未満のもの			—	—	—	—	—	—	0	
本庁執行分計									595,990	
出納機関執行分計									0	
目 計									595,990	
育英奨学事業費	鳥取県進学奨励資金事務処理委託	(株)鳥取県情報センター	(H27.4.1) 619,056	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.26 (免除) 隨	H28.3.31	精算	H28.5.11	619,056	(株)鳥取県情報センターがプログラムの著作権を有しており、財務会計システムと連動した個別システムであるため。
	県单	(株)鳥取県情報センター	(H27.4.1) 1,357,668	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.20 (免除) 隨	H28.3.31	精算	H28.4.15	1,357,668	進学文書ID:14-00182931 育英文書ID:14-00180907
	県单	鳥取県育英奨学資金事務処理委託	(単価契約) 千円当たり 324円	(H27.4.1) —	H27.4.1 ~ H28.2.29	H27.3.27 (免除) 隨	H28.3.31	H27.9.25他	4,071,077	文書ID:14-00183779
予定価格が20万円未満のもの			—	—	—	—	一般	H28.3.11	0	
本庁執行分計									6,047,801	
出納機関執行分計									0	
目 計									6,047,801	
合 計									6,643,791	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末	
			面積(m ²)	価格(円)	異動日	増減別	登記年月日	面積	価格	
行政財産		該当なし								
計										
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区成城 1丁目118-217	1,259.77	590,000,000					1,259.77	590,000,000
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80	180,193,500					462.80	180,193,500
計			1,722.57	770,193,500					1,722.57	770,193,500
合計			1,722.57	770,193,500					1,722.57	770,193,500

イ 建物 該当なし
ウ 山林 該当なし
エ 不動産売却等 該当なし
オ 財産の交換 該当なし
カ 动 产 該当なし
キ 物 権 該当なし
ク 無体财産権 該当なし
ケ 有価証券 該当なし
コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 43,686	円 206,157	円 194,066	円 55,777	
収入印紙	67,050	114,000	102,650	78,400	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシーカー券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	110,736	320,157	296,716	134,177	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成28年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 66	枚 0	枚 2 1,470 円	枚 64	

(3) 基 金

(平成28年3月31日現在)

種 別	前 年 度 末	本 年 度 中		本 年 度 末	備 考
		増	減		
鳥取県授業料減免・奨学金基金	円 290,768,711	円 98,861	円 290,867,572	円 0	
合 計	290,768,711	98,861	290,867,572	0	

(4) 債 権

(平成28年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本 年 度 末		備 考
			増		減				
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	
鳥取県進学奨励資金貸付金(高校・高専)	円 377,762,867	1,720	円 0	0	円 68,962,397	156	円 308,800,470	1,564	
鳥取県進学奨励資金貸付金(大学)	332,257,466	412	0	0	56,216,171	32	276,041,295	380	
鳥取県育英奨学資金貸付金(高校)	3,771,193,397	7,083	404,668,000	521	313,331,055	113	3,862,530,342	7,491	
鳥取県育英奨学資金貸付金(大学)	2,846,135,530	2,314	467,001,000	230	220,353,397	89	3,092,783,133	2,455	
修学奨励貸付金(定時制・通信制)	980,000	3	336,000	2	504,000	1	812,000	4	
合 計	7,328,329,260	11,532	872,005,000	753	659,367,020	391	7,540,967,240	11,894	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分 行政財産	貸付目的 該当なし	所在地 該当なし	数量又は面積 該当なし	貸付年月日 該当なし	当初貸付年月日 該当なし	貸付期間 該当なし	賃付料(円) 単価 本年度 賃付料	貸付先 住所、氏名 備考
普通財産	学生寮 (明倫館)	東京都世田谷区成城 1丁目118-217	1259.77m ²	S63.11.1	S63.11.1 ~H30.10.31		0	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会
	学生寮 (清和寮)	東京都豊島区目白4 丁目1801-29	462.80m ²	H3.6.20	H3.6.20 ~H33.6.19		0	鳥取市東町1丁目271 (公財)鳥取県育英会
	合計						0	

イ 建 物 該 当 な し

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

21 借受不動産明細調べ

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

24 寄附物件の受納状況調べ

25 備品の処分状況調べ

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1)現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
公用車	1	6,361円	平成27年6月15日 午前11時20分頃	東伯郡 北栄町内	幅員が狭い道路で対向車とすれ 違する際に、車両の左側ミラー をコンクリートブロック壁に擦つ た。	平成27年 6月19日	無
合計	1	6,361円					

(2) 物品の照合

照合年月日 平成27年11月16日	現物確認できなかつた物品 ・有	現物が確認できなかつた物品名 ・無	個 数
----------------------	--------------------	----------------------	-----

27 賃付金等状況調べ

(1) 総括表

貸付金の名称	貸付先	貸付額			本年度(元金のみ)			本年度未現在 貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度未現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)			
鳥取県進学奨励資金(高校・高専)	貸与者 1,564人	377,762,867	0	71,495,311	71,796	22,838,877	283,356,883		
鳥取県進学奨励資金(大学)	貸与者 380人	332,257,466	0	40,372,401	0	19,477,762	272,407,303		
鳥取県育英奨学資金(高校)	高校生 7,491人	3,771,193,397	404,668,000	304,697,182	0	129,600	3,871,034,615		
鳥取県育英奨学資金(大学等)	大学生等 2,455人	2,846,135,530	467,001,000	219,967,400	0	1,080,000	3,092,089,130		
修学奨励賞付金	定時制・通信制高校生4人	980,000	336,000	0	0	504,000	812,000		
	合計	7,328,329,260	872,005,000	636,532,294	71,796	44,030,239	7,519,699,931		

(2) 償還状況

区分	前年度未現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	本 年 度			本年度未現在 貸付残高 (A+B)-(C+D-E)	備考	
			区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	
元金	377,762,867	0	過年度分	159,620,446	35,631,706	71,796	0	123,916,944
			現年度分	46,123,520	35,863,605	0	22,838,877	10,259,915
			小計	205,743,966	71,495,311	71,796	22,838,877	134,176,859
利子			過年度分					
			現年度分					
			小計					
			合計	205,743,966	71,495,311	71,796	22,838,877	134,176,859

鳥取県進学奨励資金(大学)

区分	前年度未現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	本 年 度			本年度未現在 貸付残高 (A+B)-(C+D-E)	備考	
			区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	
元金	332,257,466	0	過年度分	44,045,021	8,447,937	0	0	35,597,084
			現年度分	36,846,229	31,924,464	0	19,477,762	4,921,765
			小計	80,891,250	40,372,401	0	19,477,762	40,518,849
利子			過年度分					
			現年度分					
			小計					
			合計	80,891,250	40,372,401	0	19,477,762	40,518,849

鳥取県育英奨学資金(高校)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	3,771,193,397	404,668,000	過年度分	90,406,775	21,552,215	0	0	68,854,560			
			現年度分	313,196,855	283,144,967	0	0	30,051,888	3,862,534,942		
			小計	403,603,630	304,697,182	0	0	129,600	98,906,448		
利子			過年度分								
			現年度分								
			小計								
			合計	403,603,630	304,697,182	0	0	129,600	98,906,448		

鳥取県育英奨学資金(大学等)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	2,846,135,530	467,001,000	過年度分	17,445,008	5,159,469	0	0	0	12,285,539		
			現年度分	219,273,397	214,807,931	0	0	1,080,000	4,465,466	3,092,783,133	
			小計	236,718,405	219,967,400	0	0	1,080,000	16,751,005		
利子			過年度分								
			現年度分								
			小計								
			合計	236,718,405	219,967,400	0	0	1,080,000	16,751,005		

修学奨励貸付金(定期制・通信制高校)

(単位:円)

区分	貸付額		本年度				本年度		本年度		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	区分	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	980,000	336,000	過年度分	0	0	0	0	0	0	0	
			現年度分	0	0	0	0	504,000	0	0	812,000
			小計	0	0	0	0	504,000	0		
利子			過年度分								
			現年度分								
			小計								
			合計	0	0	0	0	504,000	0		

○ 意見・要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし